



令和 2 年 11 月 6 日
秋 田 大 学

秋田大学が新型コロナウイルス感染症による 県民のメンタルヘルスへの影響に関する 調査事業を開始しました

秋田大学（学長：山本文雄）は、県内企業の従業員を対象にしたアンケートの実施を通じて、新型コロナウイルス感染症が県民のメンタルヘルスに与えた影響を測る調査事業を開始しました。

本調査は、秋田県の地域自殺対策事業費補助金の補助を受けた取組の一環として、秋田県商工会議所連合会に協力いただき、秋田大学が実施するものです。

調査期間は令和 2 年 10 月から令和 3 年 2 月までの 5 か月間で、県内 6 商工会議所の会員約 100 社に対し、各社約 10 名の従業員によるアンケート調査協力を依頼します。従業員には、期間内に約 2 か月おきに 3 回、Web 上でアンケートに回答してもらい、その解答結果を時系列で把握・検証します。

アンケートの質問項目は、新型コロナウイルス感染症が生活に与えた影響、身体的健康状態、及び心理的健康状態に関するものですが、個人が特定される情報は収集しません。

調査・分析の結果は、秋田県及び秋田県商工会議所連合会と共有し、特に自殺予防・自殺対策の視点から、今後の効果的な支援策を検討するために活用します。

また、秋田大学では当該補助金事業として、この取組の他にも、学生による SNS を活用した孤立しがちな高齢者に対する支援や、また同じく SNS を活用した中高生への SOS の出し方教育等、今後も自殺予防の取組の実施を計画しています。

対象者：秋田県内の勤労者 約 600～1,000 名

調査期間：令和 2 年 10 月～令和 3 年 2 月

【調査に関する問合せ先】

秋田大学 大学院 医学系研究科 保健学専攻

准教授 佐々木 久長

電話：018-884-6506

研究者情報：https://akitauinfo.akita-u.ac.jp/html/152_ja.html